


2.サマリ



**地域デビュー実施済
アクティブシニア**


就業状況 (SQ7)
57.5%が就業している

居住地域の友人 (Q1)
友人数が多い。1~5人が16.7%、
仲間や顔見知りはいないが0.8%

日常生活の楽しさ (Q4)
日常生活を楽しんでいる人が多い。
楽しい計が85.8%、とても楽しいが20.8%

人生100年時代 (Q12)
「楽しみである」が18.3%

その他
Q2のよく参加する活動について、選択数が多い
Q5で日々の生活が楽しいと実感することについて
選択数が全体的に多い



**地域デビュー実施前 (意向あり)
仕事重視・退職後不安高め**

77.5%が就業している

友人数が少ない。1~5人が39.8%、
仲間や顔見知りは居ないが7.3%


楽しい計が73.3、とても楽しいが9.4%

「楽しみである」が8.9%

Q8で定年退職後に「定年前にやりたいと思っていたことを実際できている」のスコアが平均より
12.9%低く、42.6%

Q10の定年退職後の不安で不安はないと答えた人が
平均よりも6.2%低く、2.1%

Q11で退職前のほうが楽しいと回答した人が
多く、地域デビュー実施者と比較して9.6%高く、
40.6%



**地域デビュー実施前 (意向なし)
無関心・現状満足**

69.5%が就業している

友人数が少ない。1~5人が45.0%、
仲間や顔見知りは居ないが20.8%

楽しい計が68.8%、とても楽しいが13.8%

「楽しみである」が10.0%

Q5で日々の生活が楽しいと実感することについて
選択数が全体的に少ないが、唯一「テレビ・ラジオ」の項目が37.2%で、全体より4.4%高い

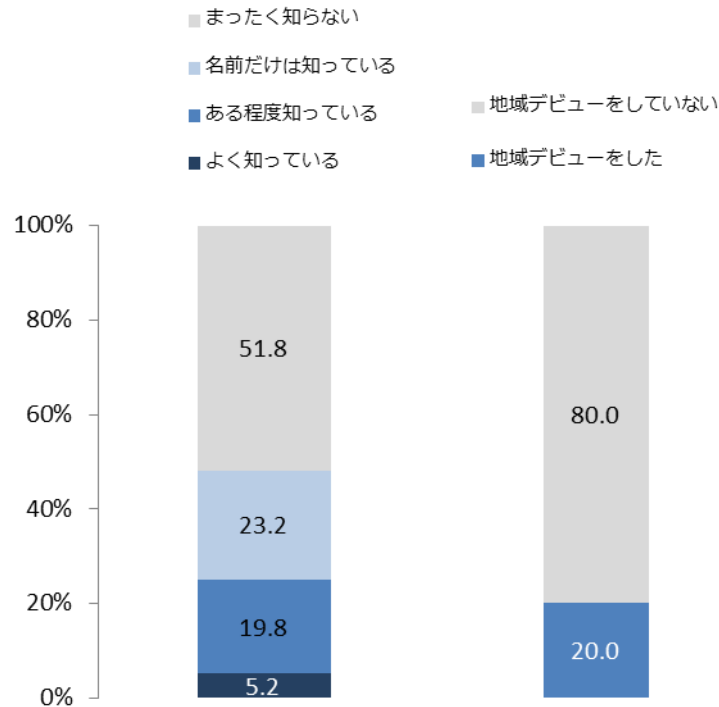
Q10の定年退職後の不安で不安はないと答えた人が
平均よりも3.8%高く、12.1%



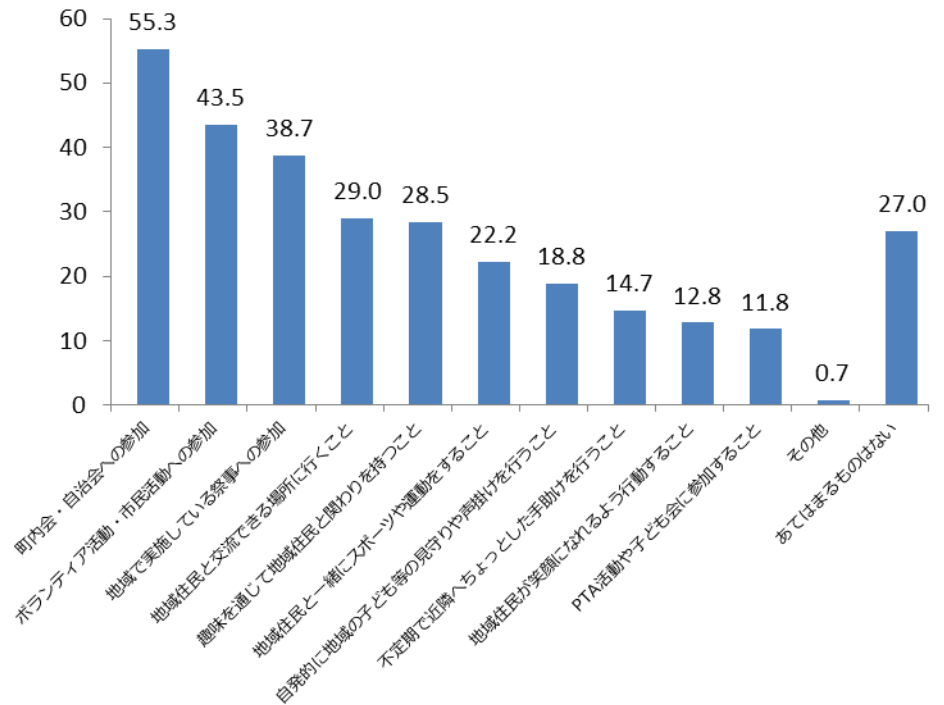
- ・地域デビューの認知は**48.2%**、実施は**20.0%**となった。
- ・地域活動に関する理解としては、「町内会・自治会への参加」が最も高く、**55.3%**、「地域住民が笑顔になれるように行動すること」は**12.8%**となった。

→生活者がイメージする地域活動の定義は、自治体が提唱する定義よりも狭く、理解の促進（より簡易なものであること）を行う必要がある。

■ 地域デビュー認知 (Q13) ・実施状況 (Q15)



■ 地域デビューに関する理解 (Q14)

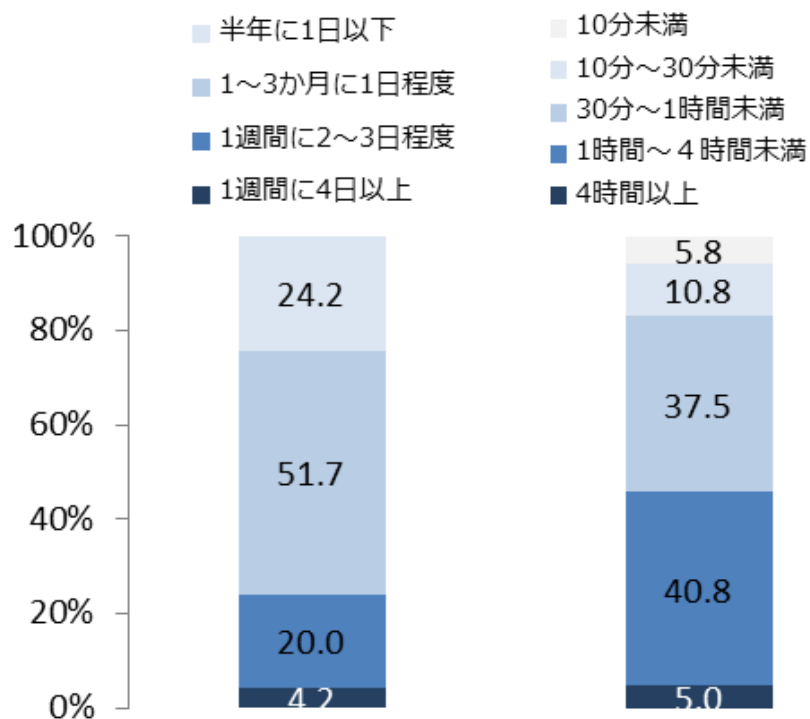




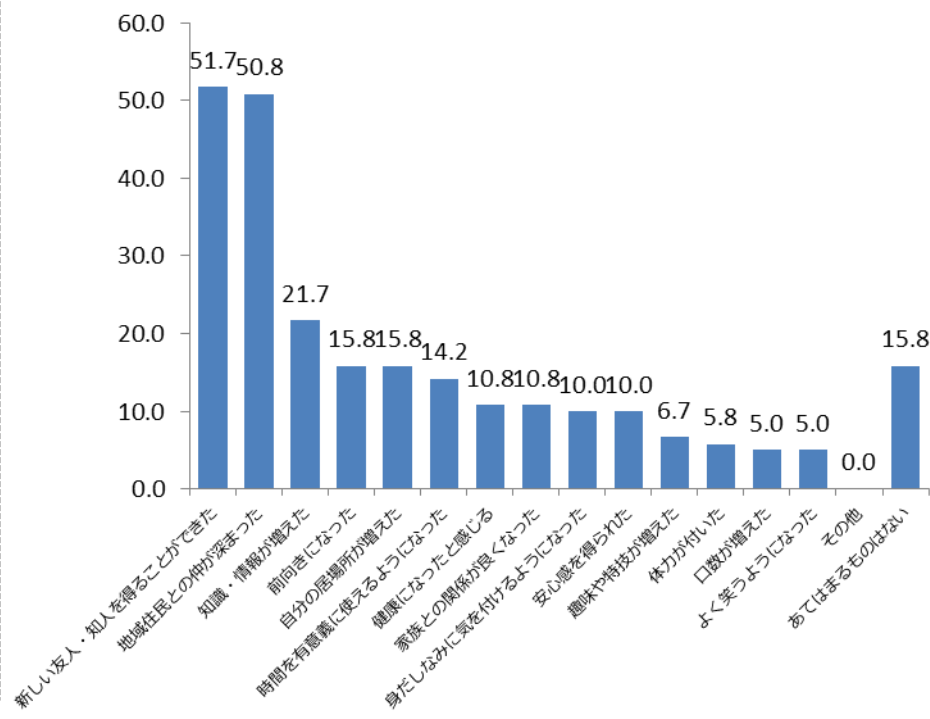
- ・地域活動の頻度は1~4カ月に1回が最も多く**51.7%**となった。
- ・地域活動の一回あたり活動時間は1時間未満の方が**54.1%**となった。
- ・地域デビューしてよかったことは、新しい友人・知人を得ることができたがTOPで**51.7%**、次点が「地域住民との仲が深まった」で**50.8%**となった。

→地域活動は短い時間で実施できることが明らかになった。

■ 地域活動頻度 (Q16) ・一回あたり活動時間 (Q17)



地域デビューしてよかったこと (Q19)

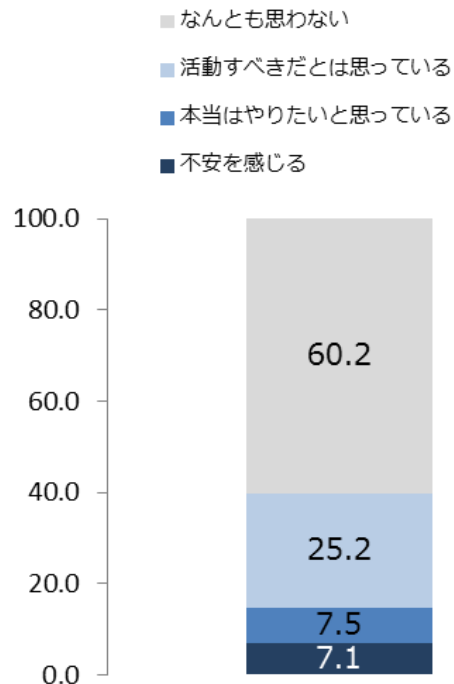




- ・地域デビューに対する危機感として、**39.8%**は何らかの改善が必要と考えている。
- ・地域デビューをしない理由は、「興味が無いため」が最も高く**36.3%**、「次点が面倒だと思うから」で**28.1%**となった。

→地域デビュー非実施者は、意向ありなしで分解して考える必要がある。
意向ありの方だと、仕事や情報不足などが理由として取り上げられている。

■ 地域デビューに対する危機感 (Q25)



■ 地域デビューをしない理由 (Q24)

